

平成25年度 第1回CCC体育学グループ運営委員会 議事概要

I. 日 時：平成25年11月1日（金）10：00～12：00

II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者：内山委員 来田委員 田附委員
（事務局）井端事務局長 森下 松本

IV. 資料

資料① 平成25年度CCC体育学グループ運営委員会の活動計画

資料②-1 体育学教育における教育改善モデルについてアンケートの内容

資料②-2 体育学教育における教育改善モデルについてアンケート集計結果

参考1 学士課程教育の現状と課題に関するアンケート調査（平成25年8月中央教育審議会資料）

参考2 これからの大学教育等の在り方について（平成25年5月教育再生実行会議第三次提言資料）

参考3 教育振興基本計画（平成25年6月閣議決定資料）

参考4 学びの革命世界が舞台（新聞情報）

参考5 誰でも無料ネット講義（新聞情報）

参考6 大学の卒業認定厳しく（新聞情報）

その他 平成25年度委員名簿、平成25年度公益社団法人私立大学情報教育協会事業計画書

V. 議事内容

1. 平成25年度のCCC体育学グループ運営委員会の活動計画について

平成25年度は、能動的学修の実現に向け、ICTの活用を含めた効果的な学修の取り組み方策、教員の教育指導の開発について今後一層研究を進めるため、サイバーFD研究員の先生方へのアンケートを踏まえた見直しを2回の委員会で行う。その上で、平成26年度に向けた教育改善モデルの一層の充実・改善及び実現に向けた研究の意識合わせを行う。

2. 教育改善モデルのアンケートの検討について

資料②-1によりサイバーFD研究員の先生からいただいた12件の意見について内容を検討した。

3. アンケートの主な意見

（1）体育学教育における学士力の考察の到達目標、到達度

概ね妥当であるとの意見が多かった。

主な意見と検討内容（意見は①～④、検討内容は*で示す）

① 到達目標1. 自己の体力強化、到達目標2. ライフスタイル、到達目標3. 競技スポーツとなっているが、1と2の順番を入れ替えた方がよいのではないか。

* 統制モデルではないので各大学でお考えいただきたい。

② 「スポーツの社会的機能（自己承認・自己実現・社会統合・寛容と他者の尊重等）」を取り上げるべきではないか。

③ 「身体運動の重要性を他者にわかりやすく伝えることができる」といった内容を追加すべきではないか。

④ 「体育・スポーツ・健康づくりの指導者養成」を取り上げるべきではないか。

* 教育改善モデル【2】「到達度として学生が身につける能力 ②」に「地域社会や学校などで、その振興や普及を担うことができる。」と幅広くまとめたが、指導者育成の観点も含め、新たに到達目標4を作成することにした。

⑤ 到達目標の3のコア・カリキュラムのイメージに「スポーツバイオメカニクス」などの科目を追加すべきではないか。

- * 「スポーツ史」の後に追加することにした。
- * 「コーチング論」は新たに作成する到達目標4にしてはどうか。との意見があり、見直すことにした。
- ⑥ メディアとの関わり方やスポーツビジネスなどにも知識が必要ではないか。
- * 各大学でお考えいただきたいので詳しく提案しなかった。コア・カリキュラムのイメージに「など」で含めている。
- ⑦ 「身体運動」「運動」「スポーツ」の使い分けが不明瞭です。
- * 全体の表現を見直すことにした。
- ⑧ 到達目標1では、身体運動に関する学術的な理解についての実践力を体力の測定評価のみによって位置づけているように見受けられる。
- * 到達度②を「筋力、心肺機能、平衡性、体脂肪率、骨密度などのデータを数値的に把握し、それらの関係から身体運動の効果を多様な観点から評価できる。」など、表現を見直すことにした。
- ⑨ 到達目標2の到達度②は、運動が集中力を高めるのか、集中力とは何でしょうか。
- ⑩ 到達目標2の到達度③、④では、何に運動を取り入れるのかを明記した方がよいのではないか。
- * 個々の大学により学生のイメージが違うので、細分化しすぎないように解説文、到達度①～⑤の表現を見直すことにした。
- ⑪ 「体育学分野」ではなく「体育・スポーツ学分野」とした方が現状を正確にとらえられています。
- * 「体育学分野」の表現は修正せず、学士力の考察の「体育・スポーツ学専門教育」を「体育・スポーツ科学専門教育」に修正することにした。

(2) 教育改善モデル

賛同する意見がほとんどであった。

主な意見と検討内容（意見は①～②、検討内容は*で示す）

- ① 教育改善モデル【2】「2. 4授業にICTを活用した学修内容・方法」の記述内容と図2の関係が不明。
- * 図2にある「映像を利用し、～比較検討資料」を「以下に学修内容・方法の一例を紹介する(図2)」の下に移動することにした。
- ② 「指導担当選手」の表記は適切でない。
- * 「指導対象者」に修正することにした。

(3) 専門性、教育力、FD活動と課題

肯定的なご意見が多かった。

主な意見と検討内容（意見は①～②、検討内容は*で示す）

- ① FD活動の⑤「教育研究力」とは、「教育を研究する力」なのか。
- * 「教育研究力」を「教育の研究力」に修正することにした。
- ② 教育力②「多様なスポーツ歴」は「多様なスポーツ指導歴」とするべきではないか。
- * 「多様なスポーツ経験」に修正することにした。

4. 次回までの課題

- ① 見なおしを検討する部分については次回までの課題とし、各委員に見直し案を作成してもらう。

5. 次回の委員会

日時：平成25年12月6日（金）または平成26年1月17日（金）

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室